

トランスランゲージング・レンズで見た子ども
—本年度赴任した小中学校での実践事例—
生田佳澄（静岡県沼津市立今沢小学校・今沢中学校）

複数言語環境下で育つ子どもがバイリンガル・マルチリンガル人材に育つことを願う。

本年度赴任した小学校と、隣接する中学校に新設された国際室（名称：Umi）の主任教諭として小学校15名、中学校6名のCLD児の学校教育に携わる。CLD児の定義はCummins（2011）のCulturally and Linguistically Diverse Children「文化的・言語的に多様な背景をもつ児童」に従う。中島（2015）の「子ども時代に複数言語を獲得することは、思考の柔軟性、異文化適応力、言語に対する理解、言語分析能力を強め、子供を文化的にも知的にもより豊かにするものである。」という一文に惹かれた。CLD児に対しトランスランゲージング・レンズ（以下TLレンズと称する）を外すことなく付け続け、非言語的側面、言語面、文化面の側面から、その子ならではの強みをできるだけ早期に兆しを見つけ、授業等で生かす工夫をした実践事例を紹介する。

事例1では、初対面でのTLレンズ活用例を紹介する。8月の2学期開始日に編入したA児（小3）の事例である。出会った初日であってもTLレンズで子どもを見ると、強みとして際立っていること、今後強みとなってくる芽のような兆しに気付くことができた。兆しは、感覚的なことかもしれないが、推察力を働かせている姿、集中して状況判断している姿、聴くときの集中力、母語の語彙や表現の豊かさ等である。複数言語によるDLA（JSL対話的アセスメント）の基本会話と基本語彙のみ初日に実施したその資料にも表れていた。保護者が持参した来日前の学校の成績表からも教科学習における子どもの強みを発見することができた。それらから得た強みや可能性に関する気づきを本人と保護者に伝えた。在籍学級担任や、管理職、学年職員、事務職員等関係職員には、強みや可能性の情報とともに、未履修事項や学校文化の違いによる知らないこと未経験の情報についても共有した。同時に、関係者から多視点での追加情報を得た。翌日、自分は不在（中学校勤務）だったが、小学校の管理職や在籍学級担任等からの情報によると、学びを積極的に切り拓いている姿が見られたようだ。関係者がそれぞれの立場からCLD児をTLレンズで見ると多角的な視点で子どもの強みの情報を得ることができる。TLレンズは、CLD児自身にも必要である。アイデンティティを自ら肯定することにつながり、安心して言葉の力を伸ばす気持ちが生まれるからである。CLD児に関わる全ての関係者がTLレンズでCLD児を見て考えることの有用性を実感した。大人は、TLレンズで見ようとする人数が増えると一気にその見方が広がる傾向が見られた。周囲の大人やCLD児への見方は、周囲の子どもたちにも好影響を与える様子が見られた。

TLレンズで発見した母語（英語）のリテラシーの強みを活用したB児の事例も紹介する。読み聞かせや多読の重要性は、中島（2015）や櫻井（2017）など多くの研究者が提唱している。事例2では、B児の母語活用が核となる協働学習により聴き手の日本語話者の子どもや関係職員にTL活用が自然と起こり内容理解が進み、みんなにとっての幸せにつながった事例である。TL体験によるCLD児理解も進んだ手立ての工夫も紹介する。

TLレンズで子どもを見ると強みが発見できる。強みを生かす他の事例や指導案も紹介する。

参考文献

- 中島和子（2015）『バイリンガル教育の方法-12歳までに親と教師ができること』アルク
Skutnabb-Kangas, T. (1981). *Bilingualism or Not: The Education of Minorities*. Clevedon, UK: Multilingual Matters.
櫻井千穂（2017）『外国にルーツをもつ子どものバイリンガル読書力』大阪大学出版会

Ofelia Garcia 等 (2017) *THE TRANSLANGUAGING CLASSROOM*, Caslon
Jim Cummins 著 (2011) 中島和子訳(2021)新装版『言語マイノリティーを支える教育』明石
書籍
佐野愛子 中島和子監訳 (2024) 「トランスランゲージング・クラスルーム」明石書店
文部科学省初等中等教育局国際教育課 (2014) 外国人児童生徒のための JSL 対話型アセス
メント
沼津市教育委員会 学校教育課 (2024) 『言語教育による表現力・読解力育成事業』
<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/kyoiku/kyoiku/numazushi/kongo.htm>
内山琴絵 (2023) 中学校特別活動における ICT を活用した防災教育の試行的実践 —図書委
員会・生徒会活動による防災マップ作りと発信—、信州大学機関リポジトリ (nii.ac.jp)
多文化・多言語な子どもたちとどう学ぶ？学習支援のツールボックス | NHK for School
NHK 「すくレポ」 (2023) Umi がつなぐ BOUSAI 教育
nhk.or.jp/school/aw/sukurepo/202304240545
<https://www.nhk.or.jp/school/cld-toolbox/content/09.html>
来日間もない小学生も教科内容が分かる 翻訳機能！ (3 校の Umi 実践事例) | NHK 「すく
レポ」